

環境保全向上活動も三年目に

「八方原の環境を守る会」は平成19年に発足して、いよいよ3年目を迎えることとなりました。

風光明媚でどこよりも住み良い八方原の農

環境を守ろうと、この活動の趣旨に賛同し、ご加入いただいた会員並びに地域の方々のご協力で今日まで、ほぼ予定通りの活動ができましたことに厚くお礼申し上げます。

この間水路の清掃、農地周辺の環境保全向上など、営農への取り組みがよ

り促進され、役立つようにと取り組んできました。

「食料は外国頼み」の我が国の実情を見るにつけ、食料生産の源である「農地」と「水」の安定的確保の活動は極めて崇高な活動だと考えています。

あと三年間の限られた期間ではありますが、今後とも郷土の営農はもとより、食料自給の一助を担えるような活動をしてまいりますので、今まで

以上のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表 原田憲一郎

総会のお知らせ

平成21年度の総会を開きます

5月19日午後7時より

八方原公民館にて

八方原の環境を守る会

草刈り作業の省力化は

畦草刈り作業の大変さは、日本中どこも一緒です。そのため各地でいろいろな工夫もあるようです。

中国新聞の4月20日付けには東広島市豊栄地区の雑草退治の実例が掲載されていました。地被植物(グラントカパープランツ)と呼ばれる地表を覆ってしまう植物の力を借りて、雑草処分の省力化を図る試みです。

農林水産省の研究員だった地元農家の高沖さんが、26世帯で植栽や管理をする「シバザクラの里乃美振興組合」を設立、柵田のあぜをシバザクラで埋め尽くしています。

高沖さんは研究機関とも連携しながら、実証研究を進め一定の成果を上げています。「うまく根付けば畦の崩

落や害虫の繁殖も防ぐことができる」とのことです。東広島市も乗り出し、2008年度からは一定規模以上の農家に補助金を出しているそうです。(シバザクラには1平米当り200円)ただ簡単には根付かないらしく、歴史の浅い技術なのでまだまだ試行錯誤状態とのことです。乃美地区でも最初の数年は失敗が続いたそうですが、それを支えたのは「農業を守ろう」という地域の団結力だったと締めくくられています。



一年間には何度も草刈り作業を強いられる



市道沿いに植えられたシバザクラ (若屋地区)

長寿万歳 地区敬老会に43名



「天使の歌声」小学生19人の合唱

春の大きな行事「敬老会」が4月19日、地区公民館で行われました。今年70歳を迎える方々が新たに対象者となり3名の「若者」が加わりました。例年より少し形を変えて、始めに箏曲の演奏家グループ「筑紫すみれ会」をお招きして、邦楽のひとつときを過ごしました。

地区の子ども達も、合唱を披露しました。参加したのは八方原地区8人と、森下地区11人の小学生でした。前日には会場でリハーサルを行い、しっかりと練習してのぞみましましたので、本番でも立派な合唱ができました。そこからは、自由な演芸大会、飛び

入りも含めて大いに盛り上がりました。庄巻は中村智子さんと原田博人さんの踊り「矢切の渡し」、伴奏は公民館長の原田孝夫さんの歌、座布団の船に乗った博人さんはなかなか進みませんでしたけれど、大爆笑でした。

国民の祝日としては9月にある「敬老の日」ですが、この地区では敬老行事は春に行われます。お隣の岩屋、仁保津でも4月に行われます。農作業の繁忙期を避けてこの時期を選んだのではないのでしょうか。何はともあれ、健康第一で長生きをしてください。



なかなか進まない座布団船

平成21年度予算案の承認

平成20年度の地区決算と新年度の地区運営の方針と予算案を審議する八方原地区総会が4月5日に行われました。

昨年の行事報告と決算について、役

区長からのお知らせ「区長協議会の巻」 原田茂樹

小郡地域の全区長を集めて行われる区長協議会が4月24日、小郡総合支所で行われました。

一番大きな議題は「地域づくり協議会」への参加についてです。小郡以外の地区では「自治会連合会」がそのまま「地域づくり協議会」になる場所もあるのですが、小郡地区区長協議会はそのほうがありません。なぜなら、担当は「地域づくり協議会は地域のいろいろな団体を横断的にまとめるものになる。いまの区長協議会は区長の集まりだが、全ての団体を統括するものではない。地域づくり協議会に区長協議会も加わっていただく」と同時に運営の中心的な立場を担っていただきたい」と答えました。

昨年12月に制定された「山口

市協働のまちづくり条例」が基本になっており、市民と行政が智恵と力を出し合うという形になります。

その拠点がいまままでの小郡公民館、今年4月からの「小郡地域交流センター」です。すでに他地区（大内、宮野、嘉川など）では体制が整っているところもあります。小郡地域も流れに従うことになりました。

新たに単位自治会の独自活動を支援する交付金制度もできました。

また新たな募金も始まることになりました。「社会を明るくする運動」募金です。いままで小郡地域ではありませんでしたが本年度から始まります。よろしくお願いします。

新しく上郷に「檉の前」地区ができました。仁保津の区画整理地区の南側です。駅南地区の新しいまち小郡平成、小郡給領などは自治会そのものがまだ組織されません。従って現在のところ、地区数は64ということでした。

続いて新年度の方針と予算案が予算案が提案され承認されました。

区民からの要望では、街灯不備の問題、岡田地区の県道交差点の通行区分帯の問題、花壇の問題などが出ました。区として慎重に取り組んでいく必要がある問題ばかりでした。